

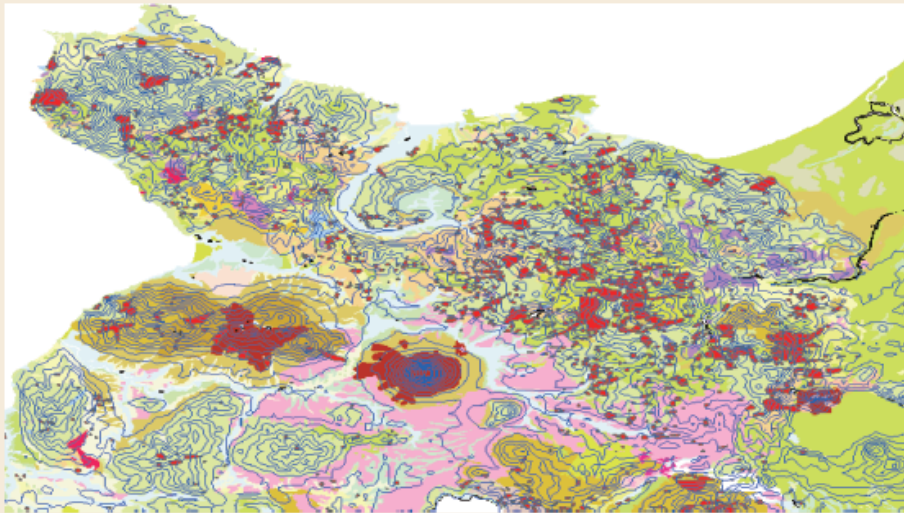


地形・地質から北海道の自然災害を考える

ー北海道で起きている自然災害の状況と、自然災害の犠牲にならないための基礎知識を学ぶー

9月29日：シリーズその6 地すべり地形見学

2015年4月に羅臼町で、2016年4月に陸別町で地すべりが原因の隆起が確認されるなど、北海道においても地すべりが発生しています。本講座では、手稲山巨大地すべりの地形見学を行います。地すべり地形の特徴、扇状地、砂防施設など、地すべり地の諸現象を野外で見学し、地すべりについての理解を深めます。



講師：山岸宏光

1966年北海道大学理学部卒業。北海道立地下資源調査所(現：北海道立総合研究機構地質研究所)、新潟大学、愛媛大学において地すべり災害、火山災害、地震災害、GIS(地理情報システム)等の研究に従事。この分野の国際的エキスパート、元日本地すべり学会会長。GIS上級技術者、理学博士。

宮坂省吾

1968年北海道大学理学部卒業。北海道の地質の変遷の研究を行うとともに、地質コンサルタントとして自然災害の研究に長く従事。北海道大学・北海道教育大学で講師(非常勤)を務めた。理学博士。

日時：2018年9月29日(土) 13:00 - 16:00

場所：JR手稲駅(集合・解散)

参加費：3,000円

参加定員：25名

申込期限：2018年9月20日(水)まで(参加定員まで余裕があれば前日まで受け付けます)

主催 特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター (<http://www.hrcg.jp>)

後援 一般社団法人 北海道地質調査業協会 (<http://www.do-geo.com/>)

札幌市・札幌市教育委員会 (<http://www.city.sapporo.jp/org/kyoiku/index.html>)

参加申込・問合せ先

E-Mail: office@hrcg.jp Tel: 080-3296-8848 (担当: 前田)

道民カレッジ単位認定

及び北海道地質調査業協会

CPD 証明書発行